

令和7年度第2回都市機能の整った快適なまち推進懇話会概要

日 時 令和7年11月18日（火）

10時00分～12時00分

場 所 逗子市役所5階第3会議室

・議題

- (1) 都市機能の整った快適なまち推進プランの事業進行管理表について
- (2) その他

・出席者

谷 守弘座長 武藤浩二副座長 石井達郎メンバー 関 基治メンバー
齋藤由佳メンバー 四宮明彦メンバー 黒川恭祐メンバー 三澤正大メンバー
船田博士メンバー

・欠席者

田中克己メンバー、木谷和三郎メンバー、大塚広美メンバーは都合により欠席

・事務局

須田環境都市部担当部長 津田環境都市部次長（都市整備課長事務取扱）
加藤都市整備課副主幹（土木管理係長事務取扱）
津金都市整備課副主幹（都市整備係長事務取扱）

・傍聴者 0名

・記録者 津金

1. 開会

事務局より、令和7年度第2回都市機能の整った快適なまち推進懇話会の開催を宣言した。また、開催にあたり須田担当部長より挨拶をした。

2. 議題

議題に入る前、第1回の懇話会から引き続き谷メンバーを座長、沼間住民協 武藤メンバーを副座長と決定した。以下、座長により会議進行をした。

議題

(1) 都市機能の整った快適なまち推進プランの事業進行管理表について

座長より進捗状況の評価についての説明。前回重点事業の議論をしていただいたため、その他の事業の議論をしていく旨を説明した。

(質疑応答・意見)

基本目標（1）：都市環境の改善

アクション：市内の交通環境の改善（道路改良事業）

【谷座長】商業ビルに接続する改札は終電まで開く予定なのか。

【事務局】現時点では商業ビルのテナントがオープンしている時間帯のみと聞いている。

【石井メンバー】商業ビル側から山の根側へは自由通路とならないのか。

【事務局】災害時等やむを得ない場合は自由通行とできる可能性はあると聞いているが、平常時は鉄道部局との兼ね合いもあるため、難しいと聞いている。

【石井メンバー】金沢新道踏切も距離が長いので自由通路があると大変助かる。

アクション：都市機能を整える交通インフラ整備（道路補修事業、道路舗装事業、道路改良事業）

【関メンバー】備考欄に県道金沢逗子線拡幅事業について、合意形成が不十分と記載されているが、どのような意味か。

【事務局】何十年か前に都市計画道路として整備する拡幅するという計画があり、自治会等からは賛成されたが、当事者の沿線の方の中に反対される方がおられて、実現できず

に現在休止になっている状況であり、合意形成がなされれば計画に位置付けられる可能性はあると聞いている。

【石井メンバー】県道の歩道がとても狭い。車椅子の方が通ると歩行者が車道の方を歩かなければならぬし雨が降ると雨の跳ね返りがすごい。さらに歩道を自転車で走る人もおり、極めて危険である。山の根3丁目から駅まで10分ぐらいだが、安全に歩けるようにということを毎回話している。道路に沿って家がある人がそんな簡単に合意するということはあり得ないと思う。どう調整するのかわからないが、公道を歩く身として非常に不便で危ない。これを合意形成ができていないため却下というのは少し抵抗感がある。

【石井メンバー】三浦半島中央道路は今どういう計画の中でどういう位置づけとなっているか。

【事務局】神奈川県の事業だが、かながわの道づくり計画に位置づけがされており、現在は環境の調査及び実施設計が完了している状況である。設計で示された道路の線形に合わせて都市計画の変更を行っている状況である。昨年は事業に関する説明会を逗子、葉山で行い、今年度は都市計画の手続きの説明会が終了しているという状況で、今後は用地測量に基づいて関係地権者への用地交渉となる。神奈川県からは実際に着工するのには10年以上先だと想定されると聞いている。

【石井メンバー】予定されている区間は。

【事務局】葉山ステーション付近に国際村から続くトンネルがあるが、そこからまっすぐにトンネルが出来て逗子警察署前のセブンイレブンの交差点付近に出る形となる。この道路ができるにより、渋滞解消と何よりも能登半島と三浦半島の地形が似ているというところがあり、地震発生時も海岸線の大きな道路を使わずにすみ、三浦半島の防災上の安全に寄与するという目的もある。

アクション：道路アダプト団体との協働による維持管理（道路維持管理事業）

【関メンバー】逗子全体の景観を考えて、ここにはアダプト団体を作つて道路に花を増やしたいという場所が記された地図があって、記された地域の方の募集をするような

システムがあるともう少し増えていくのではと思う。

住んでいるマンションでも花植えを続けているが、そのような民間の土地や、一の沢公園は確かに花を植えていたと思うが、道路からはあまり見えないため、道路際に花が植えてあるといいと思っている。そのような逗子全体で計画のようなものがあって、そこにアダプト団体がいてというようなことできないかと思っている。

【谷座長】今ある団体を継続させるために例えば表彰制度とかあると良いと思うが、より前向きに、逗子の色々な場所でこのようなところに花壇を作つければより景観的にも向上するような計画図を作成するなど、攻めの姿勢も必要ではないか。

アクション：街路樹の計画的な管理（街路樹維持管理事業）

【谷座長】植替えはハイランドが完了したら次の予定は。

【事務局】桜山のイートピアの桜の木はハイランドと同様に老木化しており、街路樹診断の結果、健全度がよくないという判定になっているため、続けて植替えをしていきたいと考えている。

アクション：下水道施設の長寿命化対策（長寿命化対策事業）

【石井メンバー】八潮市の事故以来下水道を含めた日本のインフラがかなり老朽化していることがよく言われている。逗子市の下水管の老朽化の状況については把握できているのか。

【船田メンバー】現状、逗子市の下水管については、日々の維持管理点検結果も含めて、不具合箇所が全くないとは言い切れないところもあるが、計画的な調査と対策は行っている。

【斎藤メンバー】9月5日の台風15号の影響で池子十字路や逗葉地域医療センター周辺が冠水した。たった1日の台風で冠水したため池子住民として心配しており、何か対策を行う予定はあるのか。

【事務局】台風15号では16時台に近年なかった時間当たり50ミリ以上の集中豪雨で、

田越川は満潮も時間とも重なり、もう少しで河川氾濫するところであった。道路の冠水については下水道施設の内水氾濫があるかというところになるが、一昨年から2箇年かけて浸水想定区域図を作成して、ある程度どの雨量で浸水するかというのはエリアで視覚化でき、時間50ミリ以上になると池子駐在所付近や東逗子の駅裏等は浸水すると出ており、今年度は防災安全課でそのデータを踏襲したハザードマップを作成する予定である。

ハード整備とソフトの対策は、両面が大事であると思うが、費用や時間をかけてハードの整備で全て整えることができるかというと、現実的に不可能な面もあるため、ハザードマップを作成し、市民や住民協の方にこの場所はこの雨量であると冠水するのでそこを回避しなければならないなど、そのようなソフトの点も大事であると思う。

【斎藤メンバー】知らないということが一番不安だと思うので、アリーナの辺りも浸水するのではなく、想像上の不安で話が大きくなってしまうため、ある程度ハザードマップのようなものが示せると、落ち着いて皆さん行動してくれたり、そこを避けるようにして行動してくれたりすると思う。

基本目標（2）：バリアフリーのまちづくり推進

アクション：無電柱化の推進（道路改良事業）

【谷座長】なぎさ通りの無電柱化の調査研究というのは具体的にどのようなことか。

【事務局】予算やスケジュール等を東電等にヒアリングをして調査している。また、なぎさ通りの下には横須賀市が所有している大きな水道管が何本か入っており、その中に未使用管があるため横須賀市に承諾をもらい、活用の可能性など委託をせずに調査できるものについて研究を行っている。

【谷座長】なぎさ通りは道路拡幅の予定がなかったか。

【事務局】なぎさ通りは都市計画道路だが商店街のため用地確保が難しい。

ただし、スズキヤが入っている菊地地所の建物に関しては、都市計画道路のラインに入っているため、建て替える時はその部分についてはセットバックしていただける可能性がある。

アクション：市道のバリアフリー化（道路改良事業）

【谷座長】JR 逗子駅前から延命寺に向かう通りがあるが、歩道が狭く段差や電柱があるため車椅子等はかなり大変だと思う。そこを整備しないのは優先順位が低いということか。中心部に近いので気になっていた。

【事務局】当該道路は県道であり、神奈川県に要望はしているが、用地的に厳しいとの回答を受けている。引き続き要望はしていく。

【谷座長】JR から京急へ乗り換える人の移動もあり交通量があると思うので優先度は高いと思われる。

アクション：市民協働による公共施設のバリアフリー化の推進

(障害者の住みよいまち作り推進事業)

【石井メンバー】バリアフリーというイメージがよくわからない。要するに段差がないことであったり障がいの種類もいろいろあり、例えば目の見えない方のために信号機の音をさせるなども全部含めての話なのか。

【黒川メンバー】ユニバーサルデザインの視点を取り入れたということで取り組みの方向のところに記載しており、障がいのあるなしに関わらず、誰でも使いやすいようにというのが基本的な考え方である。ただ、障がいといっても千差万別なので、それを全ての方が同じように利用できるかということはなかなか難しい。

車椅子に乗っている方の足等が障がいではなく、階段のほうが障がいだという考え方で、それらをなるべく少なくしていく「障がいの社会モデル」という考え方を持っている。

【谷座長】バリアフリー懇話会の開催予定はなしとしているが、今後も要するに誰かがアクションを起こさないと懇話会というのは開催されないので。

【黒川メンバー】この時点ではなかったが、令和7年度については、10月に北分署の建替工事についてのバリアフリー懇話会を実施した。このように、各所管で新築や大規模改修があった際に、バリアフリーの意見を反映できればというところで懇話会を開いて

いる。

【石井メンバー】高齢者が使いやすいなど様々な障がいの種類があると思う。それぞれの観点でそれを全て整備するのは大変だと思うが。

【事務局】全て整備することはなかなか難しい。ハードでおさまるものと介助が必要なことについても、バリアフリー懇話会で話し合って、個別具体にこの場所であれば、このような機能を整備するというご意見をいただき設計に反映するという流れとなるが、全ての視点で整備することはかなり難しいため、そのような意味でも懇話会でその部分を精査していただくという場になっている。

【斎藤メンバー】今年津波警報が1回出たが、障がいを持っている方の避難をどうするかということをまち作りのメンバーで避難地図のようなものを、例えばどこに行くのに何分かかるというような地図を作ったが、そのような情報はこの中で公共施設のバリアフリー化とあるが、避難のバリアフリー化というのも一つあると思う。それは都市機能なのか防災なのか重複する話だと思うが、それは逗子市の特殊事情として、地震が来て津波で避難するときに、本当に逃げられるのか、インフラはどうなっているのかというのを整理しておいた方がいいのでは。それを今どこの所管で考えているのか。

【事務局】防災安全課所管の地域防災計画の地震津波対策計画編が関連していると思うが、ご指摘のバリアフリー経路でどのくらい時間がかかるというところまでは記載されていないと思うので、共有して展開してもいいと思う。

基本目標（3）：公共施設等の更新・統廃合・長寿命化の実施

JR 東逗子駅前用地活用事業（JR 東逗子駅前複合施設整備事業）（重点事業）

企画課長の四宮メンバーより JR 東逗子駅前用地活用事業の休止についての説明を行った。

【石井メンバー】東逗子に逗子の公共施設を集約して、効率化もまち作りもする形だったが、その考え方方が基本的に休止したということでよいのか。

【四宮メンバー】事業休止の判断としては、例えば、浄水管理センターの整備が終わる

までは手をつけないというよりは、物価上昇や市の財政状況において大型の公共施設の整備の見通しが立った段階で、もう一度再開できるのかということを改めて判断するという状況であり、全くの白紙撤回という状況ではない。

【石井メンバー】前回の懇話会では、要するに規模を小さくし、そのために予定していた様々な機関をもう一度精査して、どこが入るか、要するに規模縮小を前提に考えているという話であったがこれがしばらく休止となったということか。

【四宮メンバー】最終的に説明会を中止しているため対外的には説明していないが、福祉会館が集約する施設であったが、社会福祉協議会の事務室がかなり大きかったため、別の場所を検討することによって、施設自体のボリュームを下げることや、会議室の数等を見直す考えもあった。しかし、最終的には外に出す前に事業が休止となつたため、当分の間は既存施設が現状のまま維持される状況で考えていくことになる。

【斎藤メンバー】複合施設よりも老朽化した浄水センターの再整備などその他諸々で費用がかかるため、一旦休止するということでしょうか。

【四宮メンバー】金額の多寡だけではなく、最終的に市長の判断としては、例えば浄水管理センターがないという状況はトイレが使えない状況になるため、優先度としての問題もある。また、小中学校の再整備の検討が進めば数百億単位になってくると思われている。それらがはっきりと見えない中で、金額はそれに比べれば小さいが、生活インフラの直結の事業と比較してということと財政の見通しが立たない中で、市長としては事業を進める判断ができないという考え方である。

【石井メンバー】東逗子の事業を延長して基本的にインフラの支障はないということか。

【四宮メンバー】新規施設は一部入っているが、基本的に既存の施設を集約するという考え方を持っている。それが今の場所よりは便利な場所に持ってくるという事業のテーマはあるが、この事業がなければ、市民の生活に支障が出るのかというと、例えば消防署や浄水管理センターなどに比べれば相対的に優先度が低いということである。

【石井メンバー】建設費や諸経費の高騰は逗子だけではない。他の地方公共団体も同じように色々なプロジェクトを抱えているはずで、同じような悩みをもっていると思うが。

【四宮メンバー】他の自治体の公共施設もやはり事業費が膨らんで頓挫していくというのは本当に多く目にしており、ある種、異常な状況なのかもしれないが、今後物価が下がることは多分ないので、そこを行政としてどうみていくのかということは大きな課題としてあると思われる。

また今回、国の補助金を申請したが、高度成長期時代に建設したものが老朽化し更新の時期に入っており、補助金も取り合いの状況となっているため、計画が中断するというの他自治体にも当てはまるものになっている。

【武藤副座長】18 ページの下の方の懇話会の意見とあるが、今後の見通しがまだ全く立たないという状況の中で懇話会の意見をこのまま1日も早く進めていただきたいというわけにもいかないし、今回の再編対象の施設の状況も個別に所管の方で改修等を進めている状況も予想され、今後のことがわからないので、来年度の18 ページの記載を見てから意見を述べたいと思う。

ただ、事業概要の手段のところに記載があるように、今回この基本計画を策定するにあたって、少なくともワークショップを3回開いていたり、住民の意見を非常に取り入れた取り組みを担当の方にやっていただいており、今回休止となつたが、そのようなプロセスは今後のいろんな事業に生かしてもらいたい。

基本目標（4）：歩行者と自転車を優先するまちの推進

歩行者と自転車を優先するまちの推進

【石井メンバー】それで歩行者と自転車の優先されるとなつてはいるが自転車が危なくてしょうがない。最近自転車の交通反則も厳しくなつてはいるが、ここは警察とタイアップして厳しくやっていかないと成り立たない。

また、公共交通の審議会が始まり、そこでも議論されることだと思うが、狭い道路面積の中で道路の使用の仕方に優先順位をつけることも必要だと思う。

【三澤メンバー】自転車については最近規則が厳しくなって罰則金をとれるようにとい
うふうに変わってきており、警察もかなり意識されているようなのでこちらもタイア
ップしてやっていきたい。

狭い道路の状況で優先順位については公共交通の中でどこまで迫れるかということ
はかなり難しいというところもあるが、その辺も踏まえて検討したい。

(2) その他

本日の意見をまとめた事業進行管理表を作成し、概要と併せて送る旨を伝えた。

次回の懇話会については、3月頃に現地視察会を行う旨を伝えた。